

水産海洋地域研究集会

第1回 南九州水産海洋研究集会

『南九州の海洋環境と漁業』

共催：水産海洋学会，鹿児島大学水産学部，鹿児島県水産技術開発センター，宮崎県水産試験場

日時：2013年9月6日（金）13：00～17：00

場所：鹿児島大学水産学部4号館23号教室（鹿児島市下荒田4-50-20）

コンビナー：宍道 弘敏（鹿児島水技セ），渡慶次 力（宮崎水試），大富 潤（鹿大水），  
増田 育司（鹿大水）

総合司会：渡慶次 力（宮崎水試）

挨拶：和田 時夫（水産海洋学会長） 13：00～13：10

松岡 達郎（鹿大水産学部長）

趣旨説明：宍道 弘敏（鹿児島水技セ） 13：10～13：15

基調講演

座長：渡慶次 力（宮崎水試）

「南九州を取り巻く海洋環境の特性」

中村 啓彦（鹿大水） 13：15～13：50

話題

座長：大富 潤（鹿大水）

1. 南九州各県海域の海洋環境と漁業の概要

(1) 熊本県海域の海洋環境と漁業の概要 山下 幸寿（熊本水研セ） 13：50～14：15

(2) 鹿児島県海域の海洋環境と漁業の概要 宍道 弘敏（鹿児島水技セ） 14：15～14：40

(3) 宮崎県海域の海洋環境と漁業の概要 渡慶次 力（宮崎水試） 14：40～15：05

— 休憩 — 15：05～15：15

座長：増田 育司（鹿大水）

(4) 大分県海域の海洋環境と漁業の概要 西山 雅人（大分水研） 15：15～15：40

2. 南九州における水産海洋研究事例

(1) 統計的機械学習に基づくクロマグロ幼魚の漁獲量予測

庄野 宏（鹿大水）・堀江 昌弘・東 剛志（鹿児島水技セ） 15：40～16：05

(2) 日向灘におけるいわし類・マアジ・さば類の漁獲動向

福田 博文（宮崎県水産政策課） 16：05～16：30

総合討論

座長：宍道 弘敏（鹿児島水技セ） 16：30～17：00

開催趣旨：南九州は変化に富む海岸・海底地形を有し，外洋，内湾，島嶼域，黒潮及び対馬暖流変動域など複雑な海洋環境下にある。周辺海域には多様な海洋生物が生息しており，それらを利用する多種多様な漁業が営まれている。南九州を取り巻く海洋環境・水産資源は多様かつ複雑であるため，環境変化と水産資源・漁況変化の関係や，その間に存在する低次生産から高次生物に至る食物関係などの相互関係，漁場形成要因などについては，これまで十分に研究されてきたとは言い難い。これらの諸問題解決のためには，学際的・産官学横断的な議論の場を設置し，まずは断片的に得られている情報の集約・蓄積を進め，未知・未解決の課題を抽出し，解決策の議論を続けていくことが重要である。第1回南九州水産海洋研究集会では，当該海域の海洋環境と漁業の概要についてレビューを行い，関係者間の共通認識を深め，本研究集会の今後の方向性を展望する。